

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社

FUTABA フタバ食品

栃木トヨタ自動車

新豊建設
株式会社

創業明治十五年
宮島醤油株式会社

co-op
コーフティ
とちぎコープ
食卓を笑顔に、地域を豊かに。

一般社団法人
栃木県医師会



獨協医科大学病院

益子カントリー倶楽部

学校法人やまざき学園 認定こども園 金井台幼稚園／
認定こども園 西那須野幼稚園／みふみ認定こども園
■西那須野ロータリークラブ

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスターングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団ツッ、
NPO法人レインボー 代表理事 宮田里枝、
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、
とちぎ男女共同さんかくねっと 理事長 大澤里香 (順不同・敬称略)

企画監修
栃木県

TOCHIGI POLICE
栃木県警察



映画監督・絵本作家
にしづか らいと
西坂 来人さん

1985年生まれ。福島県出身。小学5～6年の時期を児童養護施設で過ごす。中学生になると同時に家庭復帰し、それ以来母子家庭で育つ。監督したコメディドラマ「The Benza」は国内外の映画祭において最優秀作品賞やベストコメディ賞を受賞。児童養護施設に入所した子ども、退所後の若者に寄り添い映像を中心情報発信している。

小学校5年生の時から卒業までの2年間、父親の暴力から逃れたため児童養護施設で過ごしました。福島県内の高校を卒業した後は、映像の仕事を就く夢を抱き東京の映画専門学校に進みました。現在監督業と併せて映画や動画配信サイトなどで児童養護施設や施設出身者、子育て支援などの情報を発信しています。

児童養護施設で過ごす

1985年生まれ。福島県出身。小学5～6年の時期を児童養護施設で過ごす。中学生になると同時に家庭復帰し、それ以来母子家庭で育つ。監督したコメディドラマ「The Benza」は国内外の映画祭において最優秀作品賞やベストコメディ賞を受賞。児童養護施設に入所した子ども、退所後の若者に寄り添い映像を中心情報発信している。

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞

子ども虐待防止啓発キャンペーン

虐待ゼロへ

いのちに
ハグ"を。

とちぎ

section 26

企画・制作
企画監修
下野新聞社ビジネス局
栃木県
栃木県警察本部



ご視聴はこちらから



伝えたいこと届いた
一つは施設を退所した若者たちの物語・短編映画「レイルロードスイッチ」の製作です。私のホームページから見られ

て広がることを知り、自分でも見てできるのではないかと考えて施設の現状を発信する活動を始めました。諦めないことの大切さや真剣な取り組みには賛同者がいる。大人が本気になると本当に解決できることがあるんじました。しかし、福島でさまざまな復興支援に関する課題解決プロジェクトが立ち上がり、解決していく様子を目当たりにしました。確かに、大人が本気になると本音で広がることを知り、自分でも見てできるのではないかと考えて施設の現状を発信する活動を始めた。

このところ、施設にいた時の仲間が行方知れずになったり職員を転々としたりする話を見聞きしました。施設での自立支援を受けたケアが十分ではないことも「因だ」と考え施設の現状を変えたいと思う一方、一人の力では無理と諦めています。しかし、福島でさまざまな復興支援に関する課題解決プロジェクトが立ち上がり、解決していく様子を目当たりにしました。諦めないことの大切さや真剣な取り組みには賛同者がいて広がることを知り、自分でも見てできるのではないかと考えて施設の現状を発信する活動を始めました。

児童虐待は難しいテーマです。込み入った話は知りたくないけれど、映像だったら見たい人はいます。まず現状を知つてもらうことが大切なことがあります。また見た人に「自分ができることが何であるか」を考えていただけの情報の発信を続けていきたいですね。

このところ、施設にいた時の仲間が行方知れずになったり職員を転々としたりする話を見聞きしました。施設での自立支援を受けたケアが十分ではないことも「因だ」と考え施設の現状を変えたいと思う一方、一人の力では無理と諦めています。しかし、福島でさまざまな復興支援に関する課題解決プロジェクトが立ち上がり、解決していく様子を目当たりにしました。確かに、大人が本気になると本音で広がることを知り、自分でも見てできるのではないかと考えて施設の現状を発信する活動を始めた。

この番組はセンセーションラジオです。「コンセプトは、現状を正しく理解してもらいたい」と位の脚本を練り直しています。現在長編に向けて脚本を練り直しています。もう一つは、私を含めた児童養護施設出身の3人による動画配信サイト番組「ザスリーフラッグス」です。「コンセプトは、現状を正しく理解してもらいたい」と位の脚本を練り直しています。現状を正しく理解してもらいたいと決めていました。隠れた課題を掘り起こし、社会全体で問題を共有することで「希望の狼煙」のろし」と位置づけています。

大人の本気 解決への道しるべ

児童養護施設はどんなところ? どういう子どもが入所しているの? 施設の現状を知ってもらうため、施設に入所経験のある映画監督・絵本作家の西坂来人さんは、映像を使った情報発信に力を注いでいます。原動力は東日本大震災時の復興支援活動です。